

小中一貫教育の取組

横浜市の各中学校は学区内の小学校と連携し、子どもたちの成長を9年間かけて支援していく「横浜型小中一貫教育」を推進しています。根岸中学校では10年前から根岸小学校と根岸中ブロックを組み、学習指導や特別活動等さまざまな面で協働して、

1 自分の良さを発揮し、進んで学ぶ子

9年間で育てる子ども像

2 地域社会に貢献する子

3 感謝と思いやりの心をもつ子

の育成を目指しています。新しい令和の時代を迎え、これからますますAI技術等が発達していき世の中にあっても、この3つの資質は「ふえき不易な（長い間変わらずに存続する）もの」として、これからも大切にしていきたいと思っています。

それに加えて皆様もご存知の通り、来年度から小学校では新しい学習指導要領のもとでの教育が始まります（中学校は令和3年度から）。これは「10年先の社会で子どもたちが主体的に生きていく力を育成する」という新しい視点での教育改革です。英語が教科化されて、新たに「書くことの指導」が加わったり、プログラミング教育の導入が行われ、そうした教育を受けた子どもたちが、中学校に入学してくることになります。ですから、新しいカリキュラムの編成には、小・中両校の協力が必要なのです。

そこで、8月26日（月）に本校図書室で根岸小学校の先生方と合同研修会を行い、根岸中ブロックの今後の取組について3つの分科会に分かれて協議しました。

--

1 つめは、YICA・英語科の指導における指導目標や具体策について。

2 つめは、児童・生徒の成長段階に合わせて、どんな資質・能力を育てていくか。

3 つめは、地域行事での関わりや小中合同防災引き取り訓練の実施について。

根岸小学校を経て本校で3年間を過ごす子どもたちにとって、両校が同じ目標をもってカリキュラムを編成していくことは重要なことです。この取組を通じて、両校教職員の間に見えぬ関係を築き、子どもたちにとって過ごしやすい「学び場のつながり」が生まれるように努力していきます。

小中連携担当 山田 浩一

今後の予定

9月 6日(金) 中学校授業公開・協議会(小学校の先生向け)

9月27日(金) 児童生徒交流会(6年生向け、授業見学・部活動体験)

1月24日(金) 小学校授業公開・協議会